

<http://www.shokeikan.go.jp>

夏の企画展

戦傷病者の

労苦のそとばで

「白衣の天使」と呼ばれた従軍看護婦たち

平成29年

7.19 [水] ≫ 9.10 [日]

会場：しょうけい館1階

開館時間：10:00～17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日（祝日は開館・翌平日閉館）

入館料：無料

 しょうけい館
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13
ツカキスクエア 九段下
Tel.03 (3234) 7821 Fax.03 (3234) 7826

「患者さんは戦地で肉体だけではなく、
こころが傷ついている。
そのことを忘れずに見てほしい」
と軍医殿が仰っておられたのを今でも思い出します。



夏の企画展

戦傷病者の

労苦のそとばで

「白衣の天使」と呼ばれた従軍看護婦たち

先の大戦では、戦傷病者の救護・看護に当たり、様々な戦争体験をした従軍看護婦たちがいました。彼女たちは、一旦戦時となれば兵士と同様に召集され、戦地や内地（日本国内）の病院、また病院船において救護・看護活動に励みました。

彼女たちの献身的な活動により多くの人々の命が救われましたが、戦地に送られた看護婦の多くは、極度の医薬品不足などで満足に活動できない状況に苦しむとともに、伝染病や空爆など、自身の命を危険にさらしての活動を行わなければなりません。さらに、沖縄戦では看護婦の資格もない女学生たちが、学徒看護隊として動員され、「ひめゆり学徒隊」のように戦場で命を落とすこともありました。また、外地（日本国外）で終戦を知ったその後も、連合軍の下で看護婦として働き、日本への帰国が終戦から数年経った後だったという体験談もあります。

従軍看護婦たちは、多くの写真資料に戦傷病者と共に白衣で写る姿をみることができ、また、戦傷病者の中には療養中に会った看護婦と結婚した人もいるなど、戦傷病者とは切っても切り離せない存在でした。

本展では、元従軍看護婦の方から寄贈された資料や、戦傷病者がみた彼女たちの姿を伝える資料、そして個々の体験をもとに、「白衣の天使」と呼ばれた女性たちが従軍看護婦として戦傷病者と共に戦中・戦後に刻んだ歩みをみていきます。



看護衣



従軍看護婦のカバン



戦傷病者が描いたスケッチ



関連イベント

●元従軍看護婦の戦争体験講話

戦時救護、戦傷病者との思い出などを元従軍看護婦の方にお話いただきます。

講話者：桜井政子さん（元日本赤十字看護看護婦）
※講話者の都合により当日中止する場合には、学芸員による展示解説に変更となります。

日時：8月26日（土） 14:00～15:00

場所：しょうけい館1階証言映像シアター
参加無料

※当日参加可能ですが、席に限りがありますので（約30名）、参加ご希望の方は当館まで一度ご連絡ください。

●元従軍看護婦たちの証言映像上映

しょうけい館が収録した元従軍看護婦たちの証言映像6本を上映します。

日時：会期中毎日 10:00～17:00

場所：しょうけい館1階証言映像シアター

鑑賞自由・無料

●フロアレクチャー

学芸員が企画展の展示解説をします。

日時：7月29日（土）、8月12日（土）、
9月9日（土） 14:00～14:30

場所：しょうけい館1階

当日参加自由・無料

- 地下鉄をご利用の場合
「九段下」駅6番出口から徒歩1分（東西線、半蔵門線、都営新宿線）
- 都営バスをご利用の場合
「九段下」停留所から徒歩1分（高71系統（九段下～高田馬場駅））
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

平成29年

7.19 [水] » 9.10 [日]

会場：しょうけい館1階

開館時間：10:00～17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日（祝日は開館・翌平日閉館）

入館料：無料

